

## 第 8 公営企業会計の状況

---

地方公営企業とは、地方公共団体が、公共の利益を目的として経営する企業です。熊本県では、流域下水道事業、電気事業、工業用水道事業、有料駐車場事業、病院事業の 5 事業を経営しています。

地方公営企業における決算は、一般会計と同様に一会計年度の歳入歳出予算の執行実績について作成され、一事業年度における事業の経営成績及び財政状況を明らかにするための会計手続きです。

令和 2 年度（2020 年度）公営企業会計の決算については、令和 3 年（2021 年）9 月熊本県議会定例会に提出しました。



## 第8 公営企業会計の状況

### 1 流域下水道事業

#### 令和2年度（2020年度）決算の概要

##### ○事業の概要

流域下水道事業は、熊本北部、球磨川上流及び八代北部の3流域において、関係する11市町村から流入する汚水を各流域の終末処理場で処理を行っています。

##### ○流入水量の状況

熊本北部流域下水道は全体処理能力114,000 m<sup>3</sup>/日に対し、令和2年度の年間流入量は24,860,306 m<sup>3</sup>となりました。球磨川上流流域下水道は全体処理能力12,000 m<sup>3</sup>/日に対し、令和2年度の年間流入量は2,688,193 m<sup>3</sup>、八代北部流域下水道は全体処理能力13,600 m<sup>3</sup>/日に対し、令和2年度の年間流入量は2,541,730 m<sup>3</sup>となりました。

流域名	令和元年度		令和2年度			
	年間 総流入水量 (m <sup>3</sup> /年)	1日平均 流入水量 (m <sup>3</sup> /日)	年間 総流入水量 (m <sup>3</sup> /年)	対前年 度比(%)	1日平均 流入水量 (m <sup>3</sup> /日)	対前年 度比(%)
熊本北部 流域下水道	24,276,736	66,512	24,860,306	102.4	68,110	102.4
球磨川上流 流域下水道	2,576,513	7,059	2,688,193	104.3	7,365	104.3
八代北部 流域下水道	2,496,646	6,840	2,541,730	101.8	6,964	101.8
合計	29,349,895	80,411	30,090,229	102.5	82,439	102.5

※1日平均流入水量＝年間総流入水量÷365日

##### ○経営の状況

事業収益は、営業収益が15億5,944万円、営業外収益が18億9,394万円で、合計34億5,338万円となりました。

事業費用は、営業費用が33億8,990万円、営業外費用が9,211万円で、特別損失が1,668万円となり、合計34億9,870万円で、差し引き4,532万円の純損失を生じています。なお、特別損失が生じた理由は、公営企業会計への移行に伴う令和元年度消費税及び地方消費税の納付額を計上したことによるものです。

資本的支出では、企業債償還の他、八代北部流域下水道の宮原汚水中継ポンプ場の建設工事等を行いました。

○損益計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：千円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	3,389,902	営業収益	1,559,438
(1) 管 ぎ よ 費	52,317	(1) 流域下水道管理負担金	1,559,438
(2) 処 理 場 費	1,209,461		
(3) 業 務 費	7		
(4) 総 係 費	62,048		
(5) 減 価 償 却 費	2,033,598		
(6) 資 産 減 耗 費	32,471		
		営業損失	1,830,464
営業外費用	92,110	営業外収益	1,893,942
(1) 支 払 利 息	89,500	(1) 他 会 計 負 担 金	7
(2) 他 会 計 繰 出 金	1,388	(2) 他 会 計 補 助 金	313,856
(3) 雑 支 出	1,222	(3) 長 期 前 受 金 戻 入	1,576,074
		(4) 雑 収 益	4,005
		経常損失	28,632
特別損失	16,684		
(1) その 他 特 別 損 失	16,684		
		当 年 度 純 損 失	45,316
		前 年 度 繰 越 欠 損 金	0
		当 年 度 未 処 理 欠 損 金	45,316

（注）本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 企 業 債	
イ 土 地	2,633,209	イ 建設改良等の企業債	6,300,621
ロ 建 物	5,146,665	(2) 他 会 計 借 入 金	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 244,156	イ その他の長期借入金	208,107
ハ 構 築 物	15,848,416	固 定 負 債 合 計	6,508,728
減 価 償 却 累 計 額	▲ 551,421		
ニ 機 械 及 び 装 置	7,354,503	4 流 動 負 債	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 1,232,845	(1) 企 業 債	
ホ 車 両 運 搬 具	1,150	イ 建設改良等の企業債	609,921
ヘ 工 具、器 具 及 び 備 品	11,383	(2) 他 会 計 借 入 金	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 2,682	イ その他の長期借入金	8,860
ト 建 設 仮 勘 定	607,214	(3) 未 払 金	515,827
有 形 固 定 資 産 合 計	29,571,437	(4) 引 当 金	
(2) 無 形 固 定 資 産		イ 賞 与 引 当 金	3,299
イ ソ フ ト ウ ェ ア	9,976	(5) そ の 他 の 流 動 負 債	
無 形 固 定 資 産 合 計	9,976	イ 預 り 保 証 金	3,359
(3) 投 資		流 動 負 債 合 計	1,141,266
イ 長 期 貸 付 金	208,107		
ロ そ の 他 投 資	7	5 繰 延 収 益	
投 資 合 計	208,115	(1) 長 期 前 受 金	
固 定 資 産 合 計	29,789,527	イ 長 期 前 受 金	22,201,980
		長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額	▲ 1,551,307
2 流 動 資 産		繰 延 収 益 合 計	20,650,673
(1) 現 金 預 金	1,349,498	負 債 合 計	28,300,667
(2) 短 期 貸 付 金	8,860		
(3) 前 払 金	212,489	6 資 本 金	
流 動 資 産 合 計	1,570,847	(1) 自 己 資 本 金	603,804
		資 本 金 合 計	603,804
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 補 助 金	1,316,431
		ロ 負 担 金	1,184,788
		資 本 剰 余 金 合 計	2,501,219
		(2) 欠 損 金	
		イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	45,316
		欠 損 金 合 計	45,316
		剰 余 金 合 計	2,455,903
		資 本 合 計	3,059,708
資 産 合 計	31,360,374	負 債 資 本 合 計	31,360,374

（注）本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

## ○予算の執行状況

### 収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度 税込決算額(A)	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
流域下水道事業収益	-	3,597,422	3,610,605	100.4	-
営業収益	-	1,464,981	1,716,268	117.2	-
営業外収益	-	2,132,441	1,894,337	88.8	-
流域下水道事業費用	-	3,768,440	3,648,260	96.8	-
営業費用	-	3,612,764	3,517,852	97.4	-
営業外費用	-	138,991	113,724	81.8	-
特別損失	-	16,685	16,684	100.0	-
差 引	-	▲ 171,018	▲ 37,655	22.0	-

### 資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度 税込決算額(A)	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	-	1,420,461	1,423,279	100.2	-
企業債	-	431,400	437,400	101.4	-
補助金	-	703,500	712,019	101.2	-
負担金	-	276,700	265,000	95.8	-
長期貸付金償還金	-	8,861	8,860	100.0	-
資本的支出	-	3,099,172	1,656,323	53.4	-
建設改良費	-	2,511,841	1,068,994	42.6	-
企業債償還金	-	578,470	578,469	100.0	-
他会計借入金償還金	-	8,861	8,860	100.0	-
差 引	-	▲ 1,678,711	▲ 233,044	13.9	-

(注) 資本的収入額が資本的支出額に不足する額233,044千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額72,390千円、引継金160,654千円で補てん。

## 令和3年度（2021年度）上半期の状況

### ○予算の状況

令和3年度上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的	収入				
	<b>流域下水道事業収益</b> 営業収益 営業外収益 計	 1,502,026 1,885,596 3,387,622			 1,502,026 1,885,596 3,387,622
収支	支出				
	<b>流域下水道事業費用</b> 営業費用 営業外費用 計	 3,193,068 121,739 3,314,807			 3,193,068 121,739 3,314,807
資本的	収入				
	<b>資本的収入</b> 企業債 補助金 負担金 長期貸付金償還金 計	 333,600 520,000 210,100 8,861 1,072,561			 333,600 520,000 210,100 8,861 1,072,561
収支	支出				
	<b>資本的支出</b> 建設改良費 企業債償還金 他会計借入金償還金 計	 942,929 609,942 8,861 1,561,732			 942,929 609,942 8,861 1,561,732

## 2 電気事業

### 令和2年度（2020年度）決算の概要

#### ○事業の概要

電気事業は、市房第一、市房第二、緑川第一、緑川第二、笠振、菊鹿及び緑川第三の7水力発電所によって、九州電力株式会社へ電力を供給しました。

#### ○電力の供給状況

7発電所による最大出力の合計は5万4,800kWで、令和2年度（2020年度）における総供給電力量は6,306万4,177kWhとなりました。

（単位：kWh、％）

年度 発電所名	令和元年度	令和2年度			対前年 度比
	実績供給電力量	目標供給電力量	実績供給電力量	達成率	
市房第一	279,480	44,017,000	41,724,216	94.8	14,929.2
市房第二	104,832	7,989,000	6,448,908	80.7	6,151.7
緑川第一	62,100,630	4,626,000	4,103,294	88.7	6.6
緑川第二	31,995,444	2,922,000	4,630,815	158.5	14.5
笠 振	2,824,416	4,130,000	861,204	20.9	30.5
菊 鹿	2,684,300	3,116,000	2,604,440	83.6	97.0
緑川第三	1,386,000	1,837,000	2,691,300	146.5	194.2
合 計	101,375,102	68,637,000	63,064,177	91.9	62.2

#### ○経営の状況

事業収益は、水力発電電力料収入13億8,828万円（対前年度比127.6％）に負担金収益36万円と雑収益383万円を合わせた営業収益が13億9,247万円（同127.1％）、営業外収益が9,552万円（同129.7％）、特別利益が3,410万円（同皆増）の合計15億2,210万円（同130.2％）となりました。

事業費は、営業費用が17億2,006万円（同144.7％）、営業外費用が1,347万円（同113.5％）、特別損失が6,188万円（同1.2％）の合計17億9,541万円（同27.3％）となっており、事業収支では2億7,331万円の純損失を生じています。

資本的支出では、企業債償還のほか、市房第一、緑川第一及び緑川第二発電所水車発電機更新等の改良工事を行いました。



○損益計算書(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	1,720,063	営業収益	1,392,474
(1)市房発電所	528,031	(1)水力発電電力料	1,388,276
(2)緑川発電所	299,087	(2)負担金収益	363
(3)笠振発電所	67,798	(3)雑収益	3,835
(4)菊鹿発電所	44,358		
(5)緑川第三発電所	34,200		
(6)発電総合管理所	289,147		
(7)一般管理費	457,441		
		営業損失	327,589
営業外費用	13,469	営業外収益	95,520
(1)支払利息	13,242	(1)受入利息	62
(2)雑支出	0	(2)雑収益	17,013
(3)過年度損益修正損	199	(3)補助金	63,328
(4)雑損失	28	(4)過年度損益修正益	3
		(5)長期前受金戻入	15,115
		経常損失	245,537
特別損失	61,876	特別利益	34,104
(1)固定資産売却損	578	(1)過年度損益修正益	34,104
(2)その他特別損失	61,297		
		当年度純損失	273,309
		前年度繰越利益剰余金	874,395
		当年度未処分利益剰余金	601,085

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 引 当 金	
イ 水 力 発 電 設 備	16,549,620	イ 退 職 給 付 引 当 金	577,023
減 価 償 却 累 計 額	▲ 7,699,599	ロ 特 別 修 繕 引 当 金	238,631
ロ 業 務 設 備	473,639	(2) 企 業 債	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 229,584	イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	6,253,513
ハ 事 業 外 固 定 資 産	21,548	固 定 負 債 合 計	7,069,167
減 価 償 却 累 計 額			
ニ 建 設 仮 勘 定	1,645,801	4 流 動 負 債	
有 形 固 定 資 産 合 計	10,761,426	(1) 未 払 金	347,065
(2) 無 形 固 定 資 産		(2) 未 払 費 用	8,448
イ 水 力 発 電 設 備	81,006	(3) 預 り 金	20,900
ロ 業 務 設 備	13,943	(4) 前 受 金	9,147
無 形 固 定 資 産 合 計	94,949	(5) 企 業 債	
(3) 投 資		イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	201,699
イ 長 期 貸 付 金	265,554	(6) 引 当 金	
投 資 合 計	265,554	イ 賞 与 引 当 金	31,489
固 定 資 産 合 計	11,121,928	ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	6,201
		ハ 修 繕 引 当 金	1,348
2 流 動 資 産		流 動 負 債 合 計	626,296
(1) 現 金 預 金	3,166,264		
(2) 営 業 未 収 金	36,340	5 繰 延 収 益	
(3) 営 業 外 未 収 金	152,966	(1) 長 期 前 受 金	669,332
(4) 前 払 金	470,910	(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 (借 方)	△ 398,170
流 動 資 産 合 計	3,826,480	繰 延 収 益 合 計	271,163
		負 債 合 計	7,966,626
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	5,178,625
		資 本 金 合 計	5,178,625
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 補 助 金	8,467
		ロ 受 贈 財 産 評 価 額	32
		ハ 雑 資 本 剰 余 金	
		ニ 荒 瀨 ダ ム 関 連 交 付 金 等	
		資 本 剰 余 金 合 計	8,500
		(2) 利 益 剰 余 金	
		イ 減 債 積 立 金	
		ロ 利 益 積 立 金	19,204
		ハ 中 小 水 力 発 電 開 発 改 良 積 立 金	109,475
		ニ 建 設 改 良 積 立 金	1,064,893
		ホ 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	601,085
		利 益 剰 余 金 合 計	1,794,658
		剰 余 金 合 計	1,803,157
		資 本 合 計	6,981,783
資 産 合 計	14,948,408	負 債 資 本 合 計	14,948,408

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	1,533,086	1,677,132	1,725,326	102.9	112.5
営業収益	1,193,026	1,540,836	1,531,160	99.4	128.3
営業外収益	340,060	136,296	160,062	117.4	47.1
特別利益			34,104	—	—
事業費	6,609,880	2,178,920	1,846,695	84.8	27.9
営業費用	1,227,435	2,081,306	1,765,237	84.8	143.8
営業外費用	11,868	19,112	13,468	70.5	113.5
特別損失	5,370,576	45,274	67,989	150.2	1.3
予備費		33,229		0.0	—
差 引	▲ 5,076,794	▲ 501,788	▲ 121,369	24.2	2.4

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
	税込決算額(A)	予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	4,312,436	3,922,870	265,657	6.8	6.2
企業債	3,950,000	3,637,316		0.0	0.0
固定資産売却代金	42,257		103	—	0.2
他会計からの返還金	265,554	265,554	265,554	100.0	100.0
荒瀬ダム関連交付金等	54,625	20,000		0.0	0.0
資本的支出	4,771,058	4,418,809	2,284,785	51.7	47.9
建設改良費	4,393,647	3,990,694	1,894,012	47.5	43.1
企業債償還金	111,857	125,221	125,219	100.0	111.9
他会計への繰出金	265,554	265,554	265,554	100.0	100.0
予備費		37,340		0.0	—
差 引	▲ 458,621	▲ 495,939	▲ 2,019,128	407.1	440.3

(注)資本的収入額が資本的支出額に不足する額2,019,128千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額151,943千円、過年度分損益勘定留保資金1,867,185千円で補てん。

## 令和3年度（2021年度）上半期の状況

### ○予算の状況

令和3年度（2021年度）上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分		科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的	収入	事業収益 営業収益 営業外収益 計	1,481,485 109,246 1,590,731			1,481,485 109,246 1,590,731
	支出	事業費 営業費用 営業外費用 予備費 計	1,768,464 13,889 40,000 1,822,353			1,768,464 13,889 40,000 1,822,353
資本的	収入	資本的収入 企業債 他会計からの返還金 荒瀬ダム関連交付金等 計	3,023,000 265,554 20,000 3,308,554			3,023,000 265,554 20,000 3,308,554
	支出	資本的支出 建設改良費 企業債償還金 他会計への繰出金 予備費 計	3,290,157 171,049 565,554 50,000 4,076,760			3,290,157 171,049 565,554 50,000 4,076,760

### 3 工業用水道事業

#### 令和2年度（2020年度）決算の概要

##### ○事業の概要

工業用水道事業は、有明、八代及び苓北の3工業用水道によって、工場等へ工業用水を供給しました。

##### ○給水の状況

3施設の給水能力の合計は6万8,360m<sup>3</sup>/日で、令和2年度（2020年度）における年間契約水量の合計は1,175万1,185m<sup>3</sup>、基本使用水量は892万5,910m<sup>3</sup>となりました。

（単位：m<sup>3</sup>、%）

	令和元年度		令和2年度	
	契約水量	基本使用水量	契約水量(対前年度比)	基本使用水量(対前年度比)
有明	5,393,884	3,807,640	5,392,510(100.0)	3,792,540(99.6)
八代	3,799,106	2,925,464	3,781,775(99.5)	2,921,470(99.9)
苓北	2,588,240	2,222,240	2,576,900(99.6)	2,211,900(99.5)
合計	11,781,230	8,955,344	11,751,185(99.7)	8,925,910(99.7)

※契約水量：受水企業が使用可能な水量

基本使用水量：受水企業が当面の使用水量として設定した水量で、給水料金の算定基礎となる水量

##### ○経営の状況

事業収益は、営業収益が6億8,283万円（対前年度比101.5%）、営業外収益が3億3,868万円（同100.5%）、特別利益が760万円（同皆増）の合計10億2,911万円（同102.0%）となりました。

事業費は、営業費用が10億5,490万円（同108.7%）、営業外費用が3,911万円（同75.8%）の合計10億9,401万円（同107.1%）となっており、事業収支では6,490万円の純損失を生じています。

資本的支出では、企業債償還のほか、有明工業用水道濃縮槽設備更新等の改良工事を行いました。

○損益計算書(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	1,054,899	営業収益	682,826
(1)原水及び浄水費	409,544	(1)給水収益	466,227
(2)配水費	470	(2)受託管理収益	214,976
(3)業務費	123,553	(3)負担金収益	1,478
(4)減価償却費	514,784	(4)雑収益	145
(5)資産減耗費	6,548		
		営業損失	372,073
営業外費用	39,108	営業外収益	338,680
(1)支払利息	37,201	(1)受入利息	178
(2)雑支出	1,809	(2)雑収益	5,590
(3)過年度損益修正損	98	(3)補助金	23,803
		(4)過年度損益修正益	0
		(5)長期前受金戻入	309,108
		経常損失	72,501
		特別利益	7,600
		(1)その他特別利益	7,600
		当年度純損失	64,901
		前年度繰越欠損金	4,975,689
		当年度未処理欠損金	5,040,590

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○貸借対照表(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 他 会 計 借 入 金	11,729,649
イ 工 業 用 水 道 設 備	13,766,972	(2) 受 託 金	
減 価 償 却 累 計 額	▲ 6,739,346	イ 受 託 工 事 金	827
ロ 建 設 仮 勘 定	220,267	(3) 引 当 金	
有 形 固 定 資 産 合 計	7,247,894	イ 退 職 給 付 引 当 金	88,847
(2) 無 形 固 定 資 産		ロ 修 繕 準 備 引 当 金	323,323
イ 工 業 用 水 道 設 備	10,564,622	ハ 特 別 修 繕 引 当 金	43,575
無 形 固 定 資 産 合 計	10,564,622	(4) 企 業 債	
固 定 資 産 合 計	17,812,516	イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	2,009,584
		固 定 負 債 合 計	14,195,805
2 流 動 資 産			
(1) 現 金 預 金	1,671,457	4 流 動 負 債	
(2) 未 収 金	106,463	(1) 未 払 金	40,946
(3) 未 収 収 益	29	(2) 未 払 費 用	24,093
(4) 貯 蔵 品	9,409	(3) 預 り 金	58,083
(5) 雑 流 動 資 産	56,000	(4) 前 受 金	23,969
流 動 資 産 合 計	1,843,359	(5) 企 業 債	
		イ 建 設 改 良 等 の 企 業 債	322,987
		(6) 引 当 金	
		イ 賞 与 引 当 金	4,503
		ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	843
		(7) 他 会 計 借 入 金	292,992
		流 動 負 債 合 計	768,417
		5 繰 延 収 益	
		(1) 長 期 前 受 金	13,642,968
		(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 (借 方)	▲ 4,259,565
		繰 延 収 益 合 計	9,383,403
		負 債 合 計	24,347,624
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	30
		資 本 金 合 計	30
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 国 庫 補 助 金	131,065
		ロ 会 社 負 担 金	204,251
		ハ 受 贈 財 産 評 価 額	447
		ニ 雑 資 本 剰 余 金	
		ホ 一 般 会 計 補 助 金	13,047
		資 本 剰 余 金 合 計	348,811
		(2) 欠 損 金	
		イ 当 年 度 未 処 理 欠 損 金	5,040,590
		欠 損 金 合 計	5,040,590
		剰 余 金 合 計	▲ 4,691,780
		資 本 合 計	▲ 4,691,750
資 産 合 計	19,655,875	負 債 資 本 合 計	19,655,875

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

科 目	令和元年度 税込決算額(A)	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	1,086,001	1,096,242	1,097,808	100.1	101.1
営業収益	734,989	764,373	751,105	98.3	102.2
営業外収益	351,013	331,869	339,102	102.2	96.6
特別利益			7,600	-	-
事業費	1,072,755	1,240,263	1,160,634	93.6	108.2
営業費用	1,000,308	1,160,990	1,094,249	94.3	109.4
営業外費用	72,447	71,373	66,385	93.0	91.6
予備費		7,900		0.0	-
差 引	13,246	▲ 144,021	▲ 62,826	43.6	-

科 目	令和元年度 税込決算額(A)	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入	1,796,234	1,057,236	1,057,529	100.0	58.9
企業債	452,000	179,000	176,000	98.3	38.9
長期借入金	546,399	536,902	536,902	100.0	98.3
補助金	228,513	157,198	156,823	99.8	68.6
受託工事金	561,574	176,387	179,898	102.0	32.0
固定資産売却代金			157	-	-
会計内返還金	7,749	7,749	7,749	100.0	100.0
資本的支出	1,812,395	1,111,918	1,086,362	97.7	59.9
建設改良費	975,894	289,551	279,308	96.5	28.6
企業債償還金	535,760	506,414	506,313	100.0	94.5
長期借入金償還金	300,741	300,741	300,741	100.0	100.0
予備費		15,212		0.0	-
差 引	▲ 16,161	▲ 54,682	▲ 28,833	52.7	178.4

(注)資本的収入額が資本的支出額に不足する額28,833千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額2,053千円、過年度分損益勘定留保資金26,779千円で補てん。



## 令和3年度（2021年度）上半期の状況

### ○予算の状況

令和3年度（2021年度）上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的 収支	収入				
	事業収益 営業収益 営業外収益 計	661,814 332,432 994,246			661,814 332,432 994,246
資本的 収支	支出				
	事業費 営業費用 営業外費用 予備費 計	1,098,120 46,424 10,000 1,154,544			1,098,120 46,424 10,000 1,154,544
資本的 収支	収入				
	資本的収入 企業債 長期借入金 補助金 受託工事金 会計内返還金 計	78,000 445,946 129,154 11,556 7,749 672,405			78,000 445,946 129,154 11,556 7,749 672,405
資本的 収支	支出				
	資本的支出 建設改良費 企業債償還金 長期借入金償還金 予備費 計	167,458 322,487 300,741 15,000 805,686			167,458 322,487 300,741 15,000 805,686

## 4 有料駐車場事業

### 令和2年度（2020年度）決算の概要

#### ○事業の概要

有料駐車場事業は、熊本市の中心部に位置する24時間出入庫自由の県営有料駐車場と、月極駐車専用の県営第二有料駐車場を運営しています。

なお、両駐車場の管理運営については、平成28年（2016年）4月から指定管理者が行っています。

#### ○利用台数

令和2年度（2020年度）の県営有料駐車場の普通駐車（時間貸）と定期駐車を合わせた年間利用台数は、155,306台（対前年度比70.0%）となりました。

また、収容台数37台の県営第二有料駐車場の各月契約台数合計は388台（同88.8%）となりました。

（単位：台、%）

（単位：台、%）

	県営有料駐車場				県営第二有料駐車場		
	令和元年度	令和2年度	対前年度比		令和元年度	令和2年度	対前年度比
4月	17,965	7,092	39.5	4月	37	34	91.9
5月	18,642	7,420	39.8	5月	37	33	89.2
6月	18,584	14,659	78.9	6月	37	33	89.2
7月	19,637	16,098	82.0	7月	37	32	86.5
8月	19,848	13,399	67.5	8月	37	33	89.2
9月	18,378	13,866	75.4	9月	37	32	86.5
10月	18,482	14,589	78.9	10月	37	31	83.8
11月	18,791	14,615	77.8	11月	37	31	83.8
12月	20,290	15,216	75.0	12月	37	32	86.5
1月	18,261	11,785	64.5	1月	36	32	88.9
2月	17,295	11,724	67.8	2月	34	33	97.1
3月	15,785	14,843	94.0	3月	34	32	94.1
合計	221,958	155,306	70.0	合計	437	388	88.8

#### ○経営の状況

事業収益は、営業収益が1億2,630万円（対前年度比101.3%）、営業外収益が193万円（同139.8%）の合計1億2,824万円（同101.8%）となりました。

事業費は、営業費用が8,471万円（同136.1%）となっており、事業収支では4,353万円の純利益を生じています。

○損益計算書(令和2年4月1日から令和3年3月31日まで)

(単位:千円)

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
営業費用	84,710	営業収益	126,303
(1)有料駐車場	84,710	(1)負担金収益	3,606
		(2)雑収益	1,697
		(3)納付金	121,000
営業利益	41,593		
		営業外収益	1,934
		(1)受入利息	277
		(2)雑収益	566
		(3)長期前受金戻入	1,092
経常利益	43,527		
当年度純利益	43,527		
前年度繰越利益剰余金	0		
当年度未処分利益剰余金	43,527		

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

## ○貸借対照表(令和3年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固 定 資 産		3 固 定 負 債	
(1) 有 形 固 定 資 産		(1) 引 当 金	
イ 有 料 駐 車 場 設 備	2,141,439	イ 退 職 給 付 引 当 金	18,547
減 価 償 却 累 計 額	▲ 675,835	ロ 修 繕 準 備 引 当 金	8,478
有 形 固 定 資 産 合 計	1,465,604	固 定 負 債 合 計	27,026
(2) 無 形 固 定 資 産			
イ 有 料 駐 車 場 設 備	148	4 流 動 負 債	
無 形 固 定 資 産 合 計	148	(1) 未 払 金	990
固 定 資 産 合 計	1,465,752	(2) 未 払 費 用	146
		(3) 預 り 金	461
		(4) 引 当 金	
2 流 動 資 産		イ 賞 与 引 当 金	631
(1) 現 金 預 金	842,564	ロ 法 定 福 利 費 引 当 金	120
(2) 未 収 金	33,755	流 動 負 債 合 計	2,348
(3) 未 収 収 益	34		
流 動 資 産 合 計	876,353	5 繰 延 収 益	
		(1) 長 期 前 受 金	74,590
		(2) 長 期 前 受 金 収 益 化 累 計 額 (借 方)	△ 49,742
		繰 延 収 益 合 計	24,848
		負 債 合 計	54,221
		6 資 本 金	
		(1) 自 己 資 本 金	1,788,766
		資 本 金 合 計	1,788,766
		7 剰 余 金	
		(1) 資 本 剰 余 金	
		イ 受 贈 財 産 評 価 額	73
		資 本 剰 余 金 合 計	73
		(2) 利 益 剰 余 金	
		イ 利 益 積 立 金	
		ロ 建 設 改 良 積 立 金	397,256
		ハ 地 域 振 興 積 立 金	58,262
		二 当 年 度 未 処 分 利 益 剰 余 金	43,527
		利 益 剰 余 金 合 計	499,045
		剰 余 金 合 計	499,118
		資 本 合 計	2,287,884
資 産 合 計	2,342,105	負 債 資 本 合 計	2,342,105

(注)本表は消費税及び地方消費税抜きの数値。

○予算の執行状況

収益的収支

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度 税込決算額(A)	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
事業収益	126,157	128,022	132,272	103.3	104.8
営業収益	124,774	126,737	126,833	100.1	101.7
営業外収益	1,384	1,285	5,439	423.3	393.1
事業費	64,183	103,329	88,745	85.9	138.3
営業費用	64,017	91,215	88,745	97.3	138.6
営業外費用	166	9,114		0.0	0.0
予備費		3,000		0.0	-
差 引	61,974	24,693	43,527	176.3	70.2

資本的収支

(単位:千円、%)

科 目	令和元年度 税込決算額(A)	令和2年度		(C)／(B)	前年度比 (C)／(A)
		予算額(B)	税込決算額(C)		
資本的収入				-	-
資本的支出	200,000	200,000	200,000	100.0	100.0
他会計への繰出金	200,000	200,000	200,000	100.0	100.0
差 引	▲ 200,000	▲ 200,000	▲ 200,000	100.0	100.0

(注)資本的収入額が資本的支出額に不足する額200,000千円は、地域振興積立金200,000千円で補てん。

## 令和3年度（2021年度）上半期の状況

### ○予算の状況

令和3年度（2021年度）上半期における予算の補正はありません。

(単位:千円)

区分	科目	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
収益的収入	<b>事業収益</b>				
	営業収益	104,742			104,742
収益的支出	営業外収益	6,380			6,380
	計	111,122			111,122
資本的収入	<b>事業費</b>				
	営業費用	100,781			100,781
資本的支出	営業外費用	7,000			7,000
	計	108,781			108,781
資本的収入	<b>資本的収入</b>				
	資本的収入				
資本的支出	<b>資本的支出</b>				
	他会計への繰出金	200,000			200,000
	計	200,000			200,000

## 5 病院事業

### 令和2年度（2020年度）決算の概要

#### ○事業の概要

病院事業では、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第19条の7に基づき、県が設置を義務付けられている精神科病院として、「熊本県立こころの医療センター」を運営しています。

本県唯一の県立病院である「こころの医療センター」は、地域に開かれた医療を行うとともに、アルコール・薬物等の依存症や、重大な罪を犯した精神障がい者等、民間病院等では対応が困難な患者の治療を担うなど、本県の精神科医療のセーフティネットの役割を果たしています。また、患者の社会生活に向けた支援や、児童・思春期医療といった政策的・先導的な医療にも取り組んでいます。

平成29年度（2017年度）には、平成30年度（2018年度）～令和5年度（2023年度）を計画期間とする「第3次中期経営計画」を策定し、「入院医療中心から地域生活中心へ」という国の政策の方向性を踏まえつつ、県立の精神科医療機関として、当センターが今後進むべき方向性や計画期間中の目標を示しました。また、平成30年（2018年）2月に児童・思春期専用病床として「思春期ユニット」を開設しており、外来から入院まで子供の心の問題に係る診療サービスの提供を行っています。

#### ○患者の状況

令和2年度（2020年度）は、年間延べ入院患者数36,632人、年間延べ外来患者数21,516人で、前年度に比べて、入院患者数は797人の減、外来患者数は2,088人の減となりました。

（単位：人）

病院の名称	病床数	項目	令和元年度 (A)	令和2年度 (B)	比較増減 (B) - (A)
こころの医療センター	200床 (運用 150床)	患者延数	61,033	58,148	▲2,885
		入院	37,429	36,632	▲797
		外来	23,604	21,516	▲2,088

#### ○経営の状況

事業収益は、医業収益が7億2,755万円（対前年度比98.8%）、医業外収益が9億5,483万円（対前年度比104.6%）、特別利益が1,610万円（対前年度比19.4%）で、総収益は16億9,847万円（対前年度比98.1%）となりました。

事業費用は、医業費用が16億397万円（対前年度比96.4%）、医業外費用が4,846万円（対前年度比87.8%）、特別損失が2,440万円（対前年度比456.7%）で、総費用16億7,683万円（対前年度比97.2%）となり、事業収支では2,165万円（対前年度比289.5%）の純利益を生じています。

資本的支出では、空調等大規模改修事業に係る実施設計や調剤支援システムの導入を行いました。

○損益計算書（令和2年4月1日から令和3年3月31日まで）

（単位：千円）

費用の部		収益の部	
科目	金額	科目	金額
医業費用	1,603,973	医業収益	727,548
(1) 給与費	1,082,907	(1) 入院収益	594,818
(2) 材料費	60,283	(2) 外来収益	128,915
(3) 経費	290,123	(3) その他医業収益	3,815
(4) 減価償却費	162,830		
(5) 資産減耗費	5,743		
(6) 研究研修費	2,086		
		営業損失	876,425
医業外費用	48,457	医業外収益	954,828
(1) 支払利息及び企業債取扱諸費	48,457	(1) 受取利息	804
(2) 雑損失		(2) 一般会計負担金	887,558
		(3) 長期前受金戻入	15,346
		(4) その他医業外収益	51,121
経常利益	29,947		
特別損失	24,399	特別利益	16,098
(1) 減損損失	9,099	(1) 過年度損益修正益	548
(2) その他特別損失	15,300	(2) その他特別利益	15,550
当年度純利益	21,646		
前年度繰越利益剰余金	11,698		
当年度未処分利益剰余金	33,344		



## ○貸借対照表（令和3年3月31日現在）

（単位：千円）

資 産 の 部		負 債 及 び 資 本 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
1 固定資産		3 固定負債	
(1) 有形固定資産		(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	1,271,090
イ土地	283,279	(2) リース債務	33,782
ロ建物	5,305,221	(3) 退職給付引当金	533,767
減価償却累計額	▲ 2,743,503	(4) 修繕引当金	34,000
ハ構築物	522,230	固定負債合計	1,872,639
減価償却累計額	▲ 373,736	4 流動負債	
ニ器械備品	270,722	(1) 建設改良費等の財源に充てるための企業債	248,183
減価償却累計額	▲ 189,447	(2) リース債務	17,626
ホ車両	21,194	(3) 未払金	120,954
減価償却累計額	▲ 19,558	(4) 預り金	7,585
ヘリース資産	88,128	(5) 賞与引当金	65,223
減価償却累計額	▲ 36,720	(6) その他流動負債	
ト建設仮勘定	12,032	流動負債合計	459,571
有形固定資産合計	3,139,843	5 繰延収益	
(2) 無形固定資産		長期前受金	864,727
イ電話加入権	241	収益化累計額	▲ 482,531
無形固定資産合計	241	繰延収益合計	382,195
固定資産合計	3,140,084	負債合計	2,714,405
		6 資本金	2,089,987
2 流動資産		7 剰余金	
(1) 現金預金	1,575,288	(1) 資本剰余金	
(2) 未収金	118,816	イ受贈財産評価額	1,550
(3) 貸倒引当金	▲ 633	資本剰余金合計	1,550
(4) 貯蔵品	5,731	(2) 利益剰余金	
(5) その他流動資産		イ減債積立金	
流動資産合計	1,699,202	ロ当年度未処分利益剰余金	33,344
		利益剰余金合計	33,344
		剰余金合計	34,894
		資本合計	2,124,881
資 産 合 計	4,839,286	負債資本合計	4,839,286

○予算の執行状況

収益的収支

(単位：千円、%)

科 目	令和元年度 決算額(A)	令和2年度		(C) / (B)	前年度比 (C) / (A)
		予算額(B)	決算額(C)		
病院事業収益	1,731,786	1,676,414	1,698,475	101.3	98.1
医業収益	736,051	703,168	727,548	103.5	98.8
医業外収益	912,917	956,246	954,828	99.9	104.6
特別利益	82,819	17,000	16,098	94.7	19.4
病院事業費用	1,724,310	1,675,060	1,676,828	100.1	97.2
医業費用	1,663,800	1,600,354	1,603,973	100.2	96.4
医業外費用	55,168	48,557	48,457	99.8	87.8
予備費		50		0.0	—
特別損失	5,342	26,099	24,399	93.5	456.7
差 引	7,476	1,354	21,646	1,598.7	289.5

資本的収支

(単位：千円、%)

科 目	令和元年度 決算額(A)	令和2年度		(C) / (B)	前年度比 (C) / (A)
		予算額(B)	決算額(C)		
資本的収入		49,000	36,000	73.5	—
企業債		49,000	36,000	73.5	—
資本的支出	297,565	303,584	295,316	97.3	99.2
建設改良費	71,933	71,245	62,978	88.4	87.6
企業債償還金	225,632	232,339	232,338	100.0	103.0
差 引	▲ 297,565	▲ 254,584	▲ 259,316	101.9	87.1

(注) 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額259,316千円は、全額、内部留保資金で補てん。

## 令和3年度（2021年度）上半期の状況

○予算の状況

次のとおり、令和3年度（2021年度）上半期における予算の補正はありません。

収益的収支

(単位：千円)

科 目	令和3年度			
	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
病院事業収益	1,723,148			1,723,148
医業収益	797,035			797,035
医業外収益	926,113			926,113
病院事業費用	1,722,442			1,722,442
医業費用	1,680,159			1,680,159
医業外費用	41,783			41,783
予備費	500			500
差 引	706			706

資本的収支

科 目	令和3年度			
	当初予算額	6月補正予算額	9月補正予算額	計
資本的収入	644,970			644,970
企業債	482,000			482,000
一般会計負担金	162,970			162,970
資本的支出	755,138			755,138
建設改良費	508,945			508,945
企業債償還金	246,193			246,193
差 引	▲ 110,168			▲ 110,168